

2017年本屋大賞

大賞『蜜蜂と遠雷』 恩田陸（著）幻冬舎

3年ごとに開催される芳ヶ江国際ピアノコンクール。「ここを制した者は世界最高峰のS国際ピアノコンクールで優勝する」ジンクスがあり近年、覇者である新たな才能の出現は音楽界の事件となっていた。数多の天才たちが繰り広げる競争という名の自らの闘い。1次予選から3次予選まで、そして本選を勝ち抜き優勝するのは誰なのか？

2位『みかづき』 森絵都（著）集英社

小学校用務員の大島吾郎は、勉強を教えていた児童の母親、赤坂千明に誘われ、ともに学習塾を立ち上げる。女手ひとつで娘を育てる千明と結婚し、家族になった吾郎。ベビーブームと経済成長を背景に、塾も順調に成長してゆくが、予期せぬ波瀾がふたりを襲いー。

3位『罪の声』 塩田武士（著）講談社

「これは、自分の声だ」 曾根俊也は、父の遺品の中からカセットテープと黒革のノートを見つける。ノートには英文に混じって製菓メーカーの「ギンガ」と「萬堂」の文字。テープを再生すると、自分の幼いころの声が聞こえてくる。それは、31年前に発生して未解決のままの「ギン萬事件」で恐喝に使われた録音テープの音声とまったく同じものだったー。

4位『ツバキ文具店』 小川糸（著）幻冬舎

5位『桜風堂ものがたり』 村山早紀（著）PHP 研究所

6位『暗幕のゲルニカ』 原田マハ（著）新潮社

7位『i』 西加奈子（著）ポプラ社

8位『夜行』 森見登美彦（著）小学館

9位『コンビニ人間』 村田沙耶香（著）文藝春秋

10位『コーヒーが冷めないうちに』 川口俊和（著）サンマーク出版

編集後記

初めのほうイキってしまってすみませんでした。 K

夏休みやったああああああああああああ I

今回から1年生も制作に参加してくれました。僕たち3年生もそろそろ引退です…少し悲しいですね。読んでいただきありがとうございました。